

読書礼賛～ともに成長しよう～

孔子復活 ～東アジアの経済成長と儒教～

筆者 マイケル・シューマン著
2024年10月21日 初版

筆者はウォールストリート・ジャーナル紙とタイム誌の元アジア特派員で
ソウル・北京などアジア取材歴25年のジャーナリストである。



代表取締役社長
越前賢一

- 要旨：本書を書いたマイケル・シューマン氏の長年の問題意識と勉学の深さにただただ敬服するし、勉強になる。2500年前に儒教という思想があったこと自体本書を読んで驚嘆する。それがこの長きに、紆余曲折はあったにせよ伝わって、アジアの人たちに何らかの影響を与えている。
時の為政者に利用される解釈を提供しているというのは驚きであった。
また孔子自らが書物を表さなかったことも、キリスト教とも共通している。
仏教の祖としてのブッタとも共通している。
弟子たちが教義を解釈して文章化し広めていった過程にも共通したものを感じる。
- 気になったところ
(1) **なぜ、儒教が復活なのか？**
それは、儒教が生まれた国、中国での儒教の置かれてきた歴史そのもの。
儒教は民主主義などという言葉がない時代の封建制度下での政治の安定、人々の安心・安全の中でどのように為政者は政治を行うことが良いのかを見つめてきた。為政者は人格的に優れ、民を愛し、民の幸せを願わなくては其の政権は腐敗し続かない。また民は家族という制度を大事に思い、年長者を敬い生活することで国は安定するという考え方。西洋の自主独立、個人的な成功を期待する個人主義とは大きく異なる。中国は毛沢東の文化大革命で儒教を否定し、破壊したが、鄧小平の復活により、共産主義国ながら資本主義思想に大きく舵を切り、『拝金主義』が幅を利かせ、国民の道徳的精神面の低下が問題視されている。そこで儒教の国の安定という考え方、つまり現政権を肯定し、安定化させるという面をうまく活用しようとすることは本当に良いのかという筆者の疑問と儒教が浸透していけば、安全保障上の脅威も低下するのではないかという期待が読み取れる。
- (2) **なぜ仏教ではなく、儒教なのか？**
仏教も儒教も似ているではないか？ 仏教は現世を夢の中と解釈し、あの世に行けば現世の苦勞は開放される。だから我慢しなさいと教える。現実逃避型ともいえる。一方儒教は歴史や文芸から学び、現実社会の中で問題解決をしようと試みた考え方のため歴代の為政者に活用された。国も争いも激しかった。問題解決型思考方法ともいえる。儒教的考え方が広まることで世の中の諸問題が解決されていく期待を持たせてくれる書物である。古い考え方という見方ではなく、問題解決を図るために考え方を活用していくことの有用性を示している。

以上

株式会社 札幌総合保険マネジメント
〒004-0863 札幌市清田区北野3条5丁目20番12号アドヴァンス北野102
電話:011-883-5667 FAX:011-883-5749
※お電話による受付時間 平日9:00～17:00



HAPPY

通信



私たちは、
プロの保険代理店です

HAPPY通信 第40号もくじ

保険TOPICS

ご存じですか

転ばぬ先の杖

事故のケーススタディ

Information

札幌総合保険マネジメント スペシャル情報

保険 TOPICS ご存じ ですか

春・新年度 保険の整理を しませんか？

まずは

どんな保険に
入っているのか？

契約内容の確認を

そして

重複
補償はないか？

補償重複の確認を

さらに

必要以上の
補償ではないか？

補償金額の確認を

いまの加入状況が
適切な内容かどうかを

一緒に整理しましょう！

ご相談は
無料です

プロの保険代理店として、私たちは、CS（ちゃんと説明する）がモットーです。
保険に関わることで、わからないこと、不安に思うことなど、ご質問・ご相談ください。

転ばぬ先の杖

事故の ケース スタディ

意外と知らない 地震保険のこと



地震保険に
加入していても
いざという時は
いくら支払われるか
ご存知ですか？



一般住宅で火災(2000万)地震保険(1000万)
ご加入の場合のお支払い例

地震での損害の程度	地震保険金

・全 損(50%以上)	1000万
・大半損(40%以上50%未満)	600万
・小半損(20%以上40%未満)	300万
・一部損(3%以上20%未満)	50万
損害に応じた4タイプの定額での支払い	

※1年間の保険料は一般住宅の場合：木造で約10,000円 鉄筋コンクリート造で約7,000円です

地震保険は被災後の生活再建の為に必須ですが
実際の損害額を支払うものではありません！

火災保険や地震保険について
詳しいことはいつでも
わたしたちにお問合せください



補償内容は商品により異なります。
詳しくはわたしたちにご相談ください。